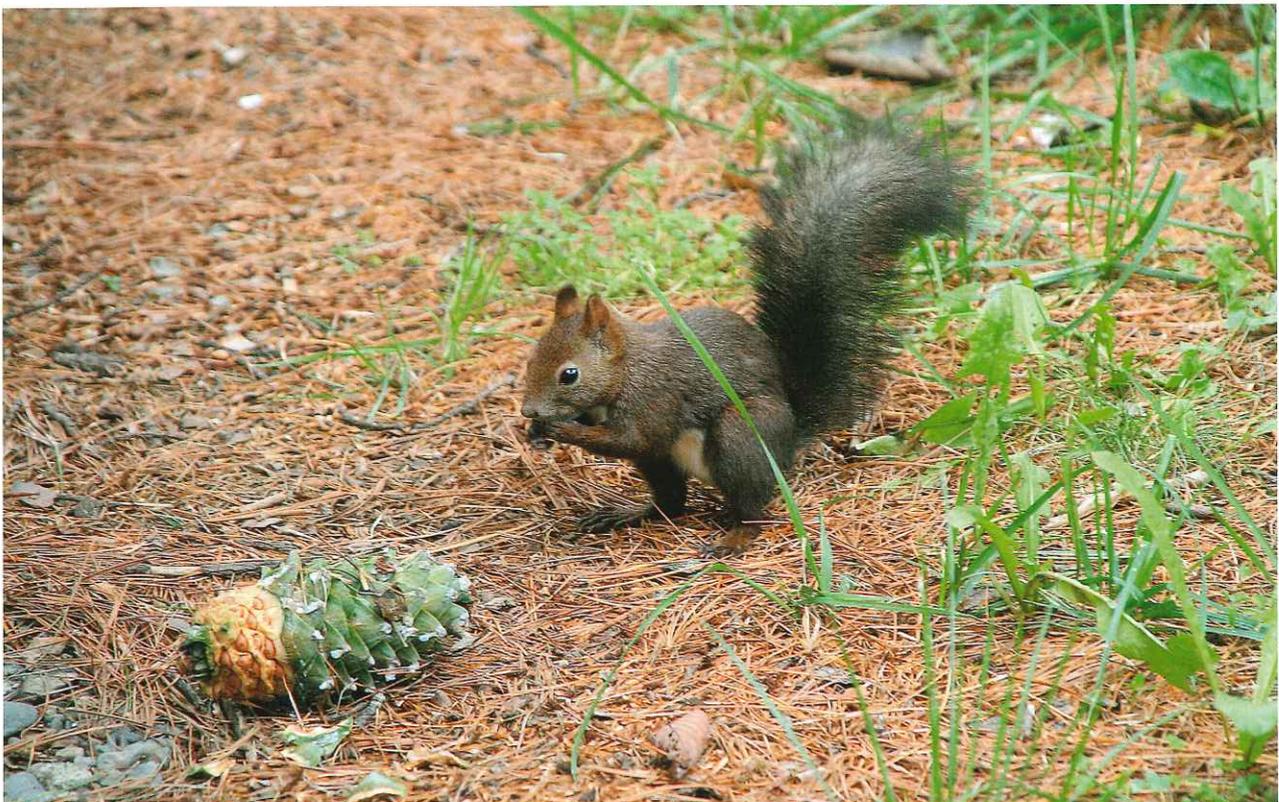


畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

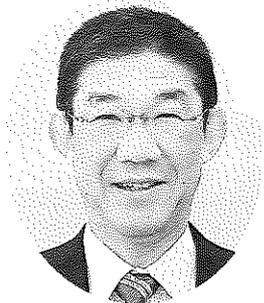
2018. 4. 1



目次

新入生諸君へ	学	長	奥田	潔	1
課程・別科紹介	共同獣医学課程	教授	石川	透	2
	畜産科学課程	教授	福島	道広	3
	別科	教授	三浦	秀穂	4
在来生所感	共同獣医学課程	1年	日隈	悠太	5
	畜産科学課程	1年	中島	海	5
	畜産科学課程	1年	中村	祐香	6
	別科	1年	鈴木	美咲	6
入試・教務課から 学生支援課から	学位記並びに修了証書授与式が行われる				7
	飲酒について				8
	悪徳商法にご注意!				8
	交通事故防止				9

新入生諸君へ



「人生の歩む道を見つける時間」

学長
奥田 潔

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからスタートする大学生活に期待で胸を膨らませていることと思います。「高度な知識と技術を身に付ける」という初心を忘れることなく、有意義な学生生活を送っていただきたいと思います。本学は、日本の食料基地として知られる広大な十勝平野に位置し、日高山脈から大雪山系へと連なる山々の裾野から太平洋へと広がる大地と遮るもののない大空を背景に、四季を通じて美しい自然を満喫することができます。このような恵まれた自然環境は皆さんの多様で个性的な夢と希望を迎え入れ、農学・畜産学・獣医学を修めるのに最適の環境であると思います。

本学は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献する》をミッションとし、実学（実際に役立つ学問、応用を重んじる科学）を基調とした教育・研究を展開しています。農学とは、食料の確保だけでなく、「食の安全・安心」を担保し、生命や生活を保障するための多くの課題を見だし、解決していくための学問です。TPPをはじめ国際的なボーダーレス化が進む中、食料自給率の低下、農業者の高齢化、農地面積の減少、農村の活力低下など、日本の食料生産をめぐる情勢は大きく変化しています。こうした情勢の変化に対応するため、本学は国際レベルの教育・研究を標榜し、日本における大学施設としては初の国際食品安全衛生基準（FSSC22000）や国際安全試験所基準（ISO17025）を取得して、それらを実践しています。卒業生の多くは、本学のミッションに沿うように、獣医・農畜産業社会における職業専門人として、日本ばかりでなく海外でも多彩な活躍をしています。

皆さんは本学に入学した目的や人生の目標は明確

ですか？漠然としている人が多いのではないのでしょうか。本学において皆さんが所属する各ユニットには、どのような人材を育成するか理念（ディプロマポリシー）に沿った必修科目や選択科目など、卒業時点までに習得すべき講義・実習科目などを示した「履修の手引き」が用意されています。また、科目ごとに勉学をスムーズに進めるための案内書（学習計画書）として「シラバス」が用意され、そこには学習達成度（成績）を評価する指標も示されています。しかし、大学は人生の道筋（プラン）までは立てられません。まだ具体的な目標の決まっていない人も、いつか自らの人生の進む方向を決断し、それに向かって歩み始めなければなりません。

畜産科学課程の入学生には4年間、共同獣医学課程には6年間、また別科には2年間の時間があるので焦る必要はありません。その間皆さんには、初心を忘れず高い志を持ち続け、講義や実習に積極的に取り組むことはもちろん、クラブ活動やボランティア活動など課外活動にも積極的に参加して欲しいと思います。講演会や音楽会など文化的イベントにも積極的に足を運び、多様な人々の考えや文化に触れることも大切です。そうしたプラスアルファの活動こそが、多種多様な人々や文化を受け入れられる幅広い人間性を産むに違いありません。

本学は、皆さんが「自らの人生の歩む道」を自ら見だし、自信を持って歩めるようになるお手伝いをします。勉学はもちろんのこと、多くのことに積極的に取り組み、本学ですごす時間が、皆さんの「人生の歩む道を見つける時間」になることを祈念しています。

課程紹介



教授
石川 透

共同獣医学 課程

帯広畜産大学共同獣医学課程の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、ようこそ帯広畜産大学へ!!これまでの弛まぬ努力が実を結び、難関を突破したみなさんの喜びも一入のことと思います。その喜びとともに、これまで多くの方々に支えられこのスタート地点に立っているということを決して忘れることなく、獣医学を修め且つ獣医師を志す学生として6年間の大学生活を是非充実したものにしていきたいと思えます。

帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程は獣医学教育の欧州基準認証の取得をめざし、国際水準の獣医学教育の実践を推進しています。新入生のみなさんは本学の教員だけでなく、北海道大学の教員による獣医学関連の専門科目の授業を受講することになります。本学は“日本の食糧供給基地”である北海道十勝という恵まれた自然環境に囲まれていることはもちろんのこと、産業動物臨床施設、食肉検査施設、毒性、微生物および病理検査・診断施設を含む多くの最先端設備を備えていることから、特に産業動物獣医療や衛生学分野に関して国内でも特色のある教育を両大学の学生さん達に提供しています。一方、北海道大学からは人獣共通感染症や伴侶動物獣医療分野などに関する獣医学教育がみなさんに提供されることとなります。また、専門教育においては教員間の相互乗り入れだけでなく、両大学の学生さんたちが一堂に会して開講される演習や実習もありますので、情報交換や親睦を深める良い機会にしていきたいと思えます。

共同獣医学課程における1年生の授業は教養科目が中心となりますが、獣医学を学ぶにあたって必要不可欠な基礎知識や教養だけでなく、広い視野で獣医学を学ぶ必要性について獣医学導入科目で学習

します。本学の特色ある授業のひとつである農畜産演習では“様々な生き物のいのちをいただきながら私たちは生きている”ことを知る機会を得ることでしょう。本格的な獣医学専門教育は2年生から始まり、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の各分野の講義や実習により体系的に学ぶこととなります。また、獣医学にとって非常に重要な畜産関連分野についても学びます。各分野の専門科目数の多さはもちろんのこと、各科目の単位取得において要求される知識量はみなさんの想像を超えるものになるかもしれません。これらの教養科目、獣医学専門科目の必要単位数を修得しなければ進級できないシステム（2年生、4年生、5年生進級時）になっているだけでなく、5年生から始まる参加型臨床実習、いわゆる“ポリクリ”の受講条件として、共用試験に合格する必要があります。さらに、最後に専門科目の仕上げとして、みなさんは研究室に配属し指導教員とともに特定の課題研究に取り組み、その成果をまとめあげることとなります。これら全てをクリアした学生さんのみが獣医師国家試験の受験資格を得ることとなりますので、十分心して学習にあたっていただきたいと思えます。

共同獣医学課程も今年で7年目を迎えます。この春、共同獣医学課程の1期生の学生さん達を社会へ送り出し、新たに7期生である皆さんを迎えることとなります。平成30年度は我々教員にとっても共同獣医学課程6年間を総括し、新たなステップを踏み出す大切な年となります。新入生のみなさんが卒業する時に“帯広畜産大学で学生生活を送って本当に良かった”と思っていただけるよう、教員も全力でみなさんをサポートしたいと思っています。一緒にがんばりましょう。

課程紹介



教授
福島道広

畜産科学 課程

新入生の皆さん入学おめでとうございます。無事入学された皆さんならびにご家族の方々に心よりお祝い申し上げます。入学式を終え、これから各自授業科目の選択と大学の講義に頭を悩ませている頃だと思います。

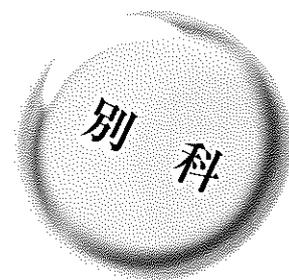
さて、皆さんの所属する畜産科学課程では、農畜産業、流通、食料生産・加工の幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指した教育を行っています。本学のミッションは、『知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献する』ための教育・研究・社会貢献を行うことでもあります。本学の教育カリキュラムはそのミッションに基づいたアドバンス制を導入しており、1年生と2年生において基盤教育と基礎教育科目群を選択し、大学において学習する知識、技術の基礎を学びます。その中で最初に始まるのが全国でもユニークな取り組みである「全学農畜産実習」です。畑でのジャガイモの植え付けや野菜栽培とその収穫、朝夕のブタのお世話と屠殺、ソーセージ作り、搾乳やバター作りなど、十勝の農畜産を体験し、後に自分の進むユニット（家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学）を選択するための基礎を垣間見る実習です。2年生になるときは所属するユニットが決定し、後期から各ユニットの専門的な展開教育が始まります。3年生の前期には卒業研究を行う所属研究室を選択する準備に入ります。同時に実験実習や多くの展開教育科目を受講

していきます。専門の講義や実習を受講する中で、卒業研究担当教員を選ばなければなりません。そのため自らの目標を設定して積極的に教員や先輩方のお話を聞きに行くという行動を起こしてください。

また本年度から新たな大学院畜産学研究科となり、獣畜融合を基礎とした本学独自の博士後期課程まで教育研究できる体制となりました。獣医学や畜産科学の教員の指導のもと、本学特有の研究を進めていくことで、国内外で専門分野を超えた活躍の場が広がります。本学がある北海道十勝地方は農畜産環境に恵まれており、日本の食糧基地としての役割を担っています。皆さんの若くて柔軟な知恵と活力を十二分に活かせる環境です。皆さんのさらなる高い教育研究意欲に期待します。

大学の課外活動では体育会系や文化会系のサークルがあります。サークルに所属することで先輩後輩といった人間関係が生まれてくると思います。ここで培われた人間関係は、就職活動など社会生活に向けた経験にも必要になってくるでしょう。しかし何が本業かを忘れず、常に意識してください。また、大学は未成年の飲酒などについて厳しく対応しています。大学生になったからと軽はずみな行動は自粛してください。

多くの人は希望を持って入学してきますが、必ずしも希望が叶うわけではなく、それなりの努力も必要です。皆さんが帯広畜産大学に誇りを持てるような大学生活が出来ることを期待しています。

教授
三浦秀穂

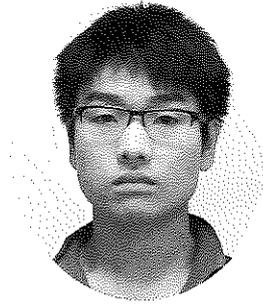
別科新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。別科主任を務めます三浦秀穂です。よろしくお願いいたします。これを読んでいる今の皆さんは入学式やその他の行事で少し緊張気味でしょうか。それともこれからの大学生活に対する期待感に胸を膨らませていますか。ともあれ帯広畜産大学によろこ。

まず別科の生い立ちから紹介します。昭和16年(1941)に帯広畜産大学の母体となった帯広高等獣医学校が創立され、本学別科はその19年後の昭和35年(1960)4月1日に産声をあげました。皆さんが2年生に進む平成31年(2019)には還暦を迎えることとなります。この60年間に1200人以上の皆さんの先輩が巣立っています。正式名称は別科(草地畜産専修)ですが、地域では畜大別科の方がなじみあるようです。

次に別科の教育目的についてですが、農業青年に対して科学的な農業知識と技術を付与し、地域農村社会の指導者となるような農業後継者を育てることにあります。教員スタッフは、本学学部教員から構成され、各分野の専門家が基礎学術科目と専門教育科目を担当しています。基礎科目として、生物、物理、化学などの自然科学や人文・社会科学、体育、英語などを学びます。専門科目では、畜産学、草地学、農業機械学、農業経営学等に関する講義や実習が準備されています。履修する際には、基礎科目と専門科目ともに必修科目と選択科目を含んでいますので、それぞれの修了要件単位数に十分注意してください。配布された履修要覧を良く理解するとともに、分からないところは別科担任の和田先生や学級担任の浅利先生に積極的に質問してください。さらに2年生の先輩からもいろいろアドバイスをもらえらると思います。

ここでこれらの科目に加えて、別科で開講されているユニークな科目を3つ紹介します。まず、1年生の夏休み期間中に行う「夏期農家実習」です。約3週間にわたって畜産農家に泊まり込んで、現場の作業を体験しながら「他人の飯を食う」ことで、専門的な知識だけでなく人間性を養う実習です。辛いこと楽しいことをいろいろ経験し、それらがきつと皆さんの血となり肉となるでしょう。遅くなった皆さんにお会いするのが楽しみです。次は、2年生の夏に実施する研修旅行です(「特別実習II」)。北海道内を3泊4日かけてバスで巡ります。コースや視察先の情報収集、連絡は皆さんが主体となって行います。私も学級担任をした時に稚内までの行程にお供したことがありましたが、北海道農業の多様さに感動した記憶がいまでも残っています。最後に、2年生の前期、後期を通じて行う「特別研究」を紹介します。この科目は学部で言えば「卒論」に該当します。2~4人が1チームとなって農業経営に関わる諸問題の中からテーマを選んで、研究計画を立案し、データの収集と分析を行い、論文として取りまとめます。さらにその成果を学内で口頭発表の形で公表します。苦勞も多いようですが、達成感がありまた将来の自身の農業経営にも有益であったと多くの修了生が評価しています。

さて、拙稿に与えられた字数もあと少しになりました。最後に「銀の匙」をまだ読んでいない方には一読することをお勧めします。本学図書館にあります。きっと貴兄、貴女のこれからの十勝、帯広での大学生活に対する期待がより一層膨らむでしょう。それでは、皆さん、元気よくいきましょう。



共同獣医学課程 1年
日隈 悠太

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。時が経つのは早いもので、気が付けば私の大学一年目は終わっていました。本当にあっという間の一年でしたが、この一年の経験から言えることは、新しいことへの挑戦は大抵日常をより充実したものにしてくれるということです。

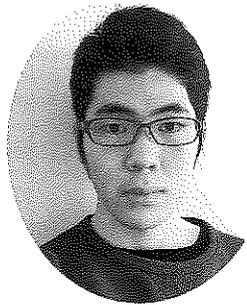
私は小中高と部活はサッカー一筋でした。一筋といえば聞こえは良いのですが、これは新しいことを始める勇気がなかったことにも起因していました。その様な状況を打破したいと思い、私はカヌー部に入部することを決めました。この決断は大当たりで、ダウンリバーやキャンプを通して北海道の自然を満喫することができ、何より、それまでただの景色の

一部でしかなかった川を身近に感じられるようになったことで世界が広がった気がします。

もう一つの挑戦は、五月に搾乳バイトを始めたことです。正直、朝早いのはつらいですが、生産者側から牛の健康管理などについて学べるのは獣医学を学ぶ上でも、獣医師になってからもためになる経験だと思います。また、ここでの経験は産業動物の獣医師を将来の選択肢に含めていなかった私の選択肢を広げてくれました。

今私は、朝夕は牛と過ごし、週末は川でカヤックを漕ぐという、大学入学前の私からは想像もつかない充実した日常を過ごしていますが、これは新しいことへの挑戦がなければあり得ませんでした。畜大には機会が溢れています。皆さんも何か新しいことを始めてみてはいかがでしょうか。

最後に、ここまで学業について触れませんでした。共同獣医学課程の一年目は講義が少ないので自由時間が多くあります。この時間を読書などの趣味にあてるのも良いと思います。ただし、提出物やテストには気を付けましょう。



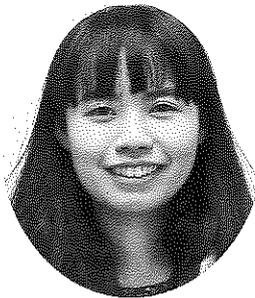
畜産科学課程 1年
中島 海

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この大学を出願するにあたり、様々な思いがあったことと思います。念願叶ってこの大学に来た人、やむを得なく来た人など、そんな抱えた思いが違う人達が、この北の大地に集うのです。ワクワクしてきませんか。これからどんな人と出会い、自分はどんな道を歩んでいくのだろうか。でも、そんな気持ちとともに、不安な気持ちもいっぱいあるのではないのでしょうか。初めて親元を離れて一人でやっているのだろうか、友達ができるのだろうかと考えているのではないのでしょうか。でも、大丈夫です。入

ってきた皆が先の見えない道を進もうとスタート地点に立ったばかりなのですから。思いっきり大学生活を謳歌してください。

僕は酪農家になりたいと考え、この大学に来ました。皆さんはどうでしょうか。僕の周りには、同じ志を持った人もいれば、自分の好きなことについて研究したいと思ってきたという人など、様々です。そんな人と過ごす大学生活は刺激的でとても魅力的です。また、大学に入ると今までとは違う部分も多くあります。授業が高校のものとは違い、自分自身で決めなくてはなりませんし、「自由」というものが生まれます。この「自由」という言葉は自分のやりたいことに挑戦できる時間が増えたことと捉えることができますが、自由に溺れ、やるべきことを見失ってしまう原因にもなりかねません。時には遊ぶことも大切ですが、やるべきこと、やらなければいけないことが目の前にあれば、やりましょう。

この大学生活4・6年という時間が皆さんにとって、これから先の道を切り開いてくれる糧となることを願っています。



畜産科学課程 1年
中村 祐香

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験が終わったと思ったら慣れない土地での生活が始まり、それぞれが不安と期待を抱えているのではないのでしょうか？一年前の私も同じような気持ちでした。そんな皆さんが、全力で畜大での生活を楽しくめるようアドバイスを送れたらと思います。

まず、友達を作るためにもサークルや部活動に参加することをお勧めします。私の場合、全く知っている人がいない状態での入学でした。そんな状況でのサークル活動は、気の合う友達、頼りになる先輩に出会うきっかけになりました。また、畜大には帯広ならではのサークルがたくさんあります。せっかく帯広に来たので、いろいろなサークルの見学をし

て、自分に合うサークルを見つけてみてください。

次に大学の講義についてです。大学は高校までとは異なり、好きな授業を選ぶことができます。最初はなかなか選び方がわからず、迷うと思います。そんな時は遠慮せずに先輩に聞いてください。詳しく教えてくれますし、仲良くなるきっかけにもなります。また、一年生では全学農畜産実習で、畑での作業や搾乳、豚の飼育など貴重な経験がたくさんできます。夢や目標をもっている人もそうでない人も、将来を決めつけずに広い視野でこれからの選択肢をまずは広げてみてください。きっと新しい自分を見つけることができます。

大学生活は自分次第で何でもできます。帯広ならではの農家バイトや、友達との鍋会、スノーボードや先輩に温泉に連れて行ってもらったり…楽しいことでいっぱいです！もちろんレポートや試験でも大忙しですが、全部自分次第です。自分から行動を起こしてみてください！有意義な大学生活を送れることを祈っています。



別科 1年
鈴木 美咲

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式を終えて、皆さんは今不安や期待の気持ちを抱いているのかと思います。私も皆さんと同じ様に期待と不安で一杯でした。しかし、この自然に囲まれた畜大で、私は多くのこと学び、大切な友人を得ることができました。不安はすぐには消えないと思いますが、これから始める大学生活を一杯楽しんでください！

ここ畜大がある北海道は、たくさんの魅力があります。それは、美味しい食べ物であったり、沢山の野生動物であったりと、魅力を感じるものは人それぞれかと思いますが。その中で私が一番魅力を感じたのは大自然です。北海道の四季は本当に美しいです。息を呑むほど美しい景色を何度もみました。冬はとても寒いですが…。是非、

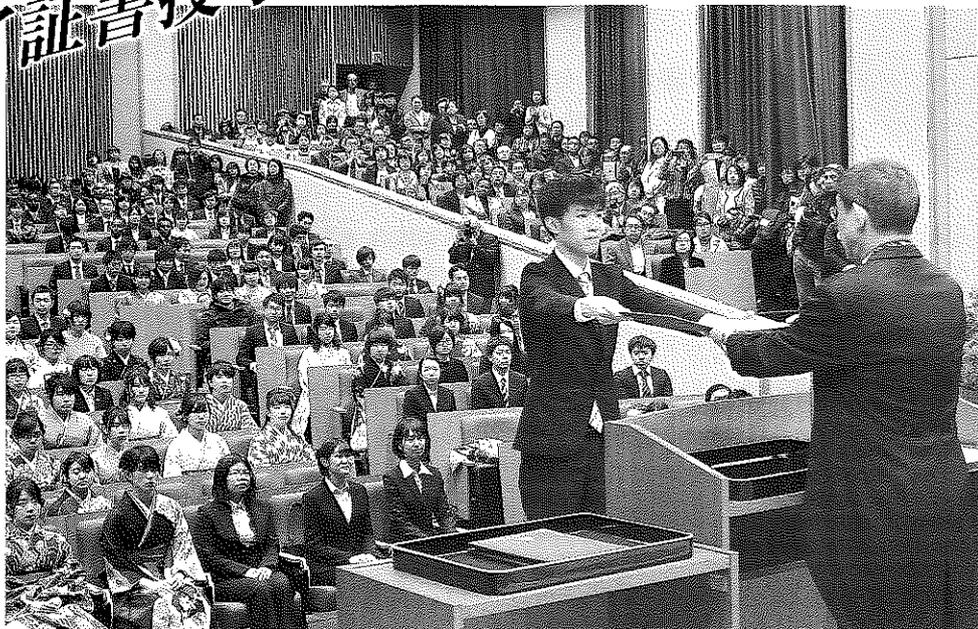
悩んだり、行き詰まった時、外に出て自然を感じてください。

私が一年前畜大に入学してきたのは、将来動物関係の仕事がやりたいという思いからでした。今まで牛や馬などの大型動物に触れたことがなかった分、驚くことが多く、最初は戸惑い悩むことが多かったです。しかし、サークルや実習で牛や馬に触れ合っていく中で、少しずつ彼らがどんな動物なのかわかってきました。今では牛も馬も大好きです。まだまだ未熟だと感じることも多いですが、少しずつ前に進んでいます。色々な経験をしていくうちに目標も定まり、今は酪農に挑戦したいと思っています。

別科は2年間と短かく、そのため一年がとても濃厚です。夏季農家実習では、大学では体験できないような実践的な酪農の仕事を経験でき、とても勉強になりました。二年次では人工授精師や削蹄師になるためにより講義や実習が濃い内容になります。きっと沢山のこと学び、見つけることができると思います。私のように入学してから明確に目標を見つけるのも一つの手かと思います。

大学生活は時に大変なことが多々あります。しかし、それもまた醍醐味だと私は思います。色々なものを見て学び1日1日を大切に。そして、どうか悔いのない素敵な大学生活を送ってください。

学位記並びに 修了証書授与式が行われる



去る3月20日（火）午前10時から本学講堂において平成29年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。

式典に先立ち恒例であるマンドリンサークルによる演奏が行われ、多数の家族および教職員が見守る中、奥田 潔学長から共同獣医学課程、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。引き続き学長の告辞の後、来賓の砂川敏文 同窓会会長から祝辞があり、帯広畜産大学逍遥歌が流れる中、式が終了しました。

式が終了すると、少し緊張気味だった卒業・修了者達は、早速会場を後にしました。

外では、先輩の晴れ姿を祝おうと、花束を渡し大学生活の思い出話しやサークル活動の苦労話しに華を咲かせていました。

本年度は、学部238名、別科（草地畜産専修）15名、大学院各専攻合わせて53名の合計306名が、畜大での思い出を胸に社会へ巣立っていきました。



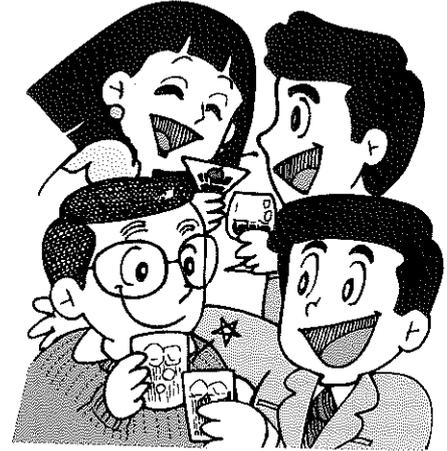
☆ 飲酒について ☆

本学では未成年者の飲酒は、いかなる場合であっても禁止しています。また、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要も禁止しています。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた。断れず仕方なく飲んでしまった。等の事実があった場合は、学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のことに留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない



☆ 悪徳商法にご注意! ☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った(と思われる)場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

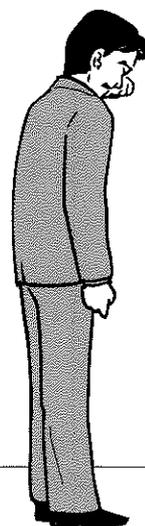
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求 (パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する)
- 無料商法 (無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる)
- サクラサイト商法 (サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになりすまし、メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する)
- デート商法 (間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます)
- マルチ商法 (加盟者が新規加盟者を誘い、その加盟者が別の加入者を誘うという連鎖により組織を拡大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い)
- キャッチセールス (繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる)
- アポイントメントセールス (抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る)

交通事故防止

加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑，罰金）
3. 行政処分 例（免許取消，免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲戒処分 例（退学，無期停学，停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い，経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が，毎日夢に出てくる
6. 怒り



大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については，交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として，一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には，徒歩，自転車，或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では，学生と思われる無断駐車が多数見受けられ，歩行者の通行を阻害する等，荷物の搬入，緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は本学が開催する「交通安全セミナ

ー」を受講のうえ「駐車場使用許可申請書」を提出し「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また，マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても，本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として，良識ある行動を取るよう，切望します。